

(トラック①)

(捕らえられた元ヒーローを地下の拷問室で辱めるシーン)

(中・中)

ほーら

…無様な正義の味方サマ、
お目覚めの時間だぜ

(低く嘲笑う)

ヒヒッ

…最高にいい面してやがるなあ
怪人の群れにボコボコにされて…

意識を刈り取られて…

目が覚めればこの湿った拷問部屋でさ

(愉悦に声を震わせる)

産まれたままの姿で拘束されて…

雌犬みたいに股ぐらを

ガバツと開かされてるってわけだ

ひひっ…

(蔑むように鼻を鳴らす)

正義を気取ってた自慢の肉棒も…

今は恐怖で縮こまって、

情けなく尻の下がつてんぜ

なあ…

高潔な正義のヒーロー

…“セイバーフレイム君”よお

へっその絶望にドロドロに染まった瞳…

(興奮で喉を鳴らす)

マジで俺様をゾクゾクさせるぜ

(中・近)

(耳元へ距離を詰めて)

俺か。

俺は悪の組織の下級幹部

…イロハク・レデアス様だ

ふふっ…

ま、幹部つつつても戦闘力は

ゴミみてえなもんだけどよ

(ねつとりと含み笑い)

けど…

この組織は、

俺様みたいな変態には最高なんだぜ

お前みてえなプライドの高いオスを…

(下卑た笑みを浮かべて)

ふふっ

…俺様の「実験動物」として

好き勝手させてくれるんだからよ

俺様はさ…

昔っから…ふふっ

強くて美しいオスを…

(狂気を孕んだ執着心で)

自分好みの肉人形に作り替えて…

ボロ雑巾みたいに

使い潰すのがだーい好きなんだよ

あんなに眩しくて…

カッコよかったヒーローサマがさ…

ふふっ…

俺様のエグい人体実験と

拷問を繰り返すうちに…

(吐息を混せて、ゆっくりと追い詰める)
一歩ずつ…

確実に…

汚泥の中に落ちていくんだぜ

俺様の気分次第で…ふっ

その汚ねえ肉棒から…

(舌なめずりをする音)

ザーメンを

びゅーびゅーと垂れ流すだけの…

ただの射精機械に仕上げてやったりき

(ニヤついて)

二度と使い物にならねえ…

脳ミソが蕩けきった

“怪人ペット”にしてやることもできるんだぜ

(声を一段と低くして)

ま…大抵の奴はき…

ふふーん

そこまで辿り着く前に…

精神が壊れて廃人になっちまうか…

絶望して自分から

くたばっちまうのが多いんだけどな

(中・近)

ああ…

(期待に声を震わせる)

でもアンタは格別だ

その強い眼光に似合わねえ…

情けなく震えてる粗末な肉棒…

(獲物を品定めするようにねっとり)
今からこいつを…

俺様の歪んだ性癖で…

ドロドロに塗り替えて…

徹底的に使い潰せるって思うだけで…

(自身の欲情を認めるように)

ああ…

感じちまう…ふんっ

やっべえ…

(下腹部を押さえるような苦しげな吐息)

俺様の肉穴に血が

ブワツと集まって…

熱く盛り上がってきやがった…ふんっ

(中・近)

(我慢の限界が近い、焦れた声で)

ひひ…

ちょっと自己紹介の途中だけだよ…

失礼させてもらうぜ

ははっ…

(理性が飛ぶ直前の笑い)

あー…ダメだ…もう我慢できねえ

ふひひっ…

お前の目の前で、

この淫らな肉穴を丸出しにして…

(腰を振る音を意識して)

腰をへこへこ動かしながら…

今からオナニーを見せつけてやるよ

(狂気を剥き出しにして自慰を開始)

止まんねえ…

止まんねえんだよ

(激しく荒い呼吸と、粘つく自慰の音 3秒)

ああ…やべえ…

マジでやべえよ…

あの猛々しかったヒーローの象徴を…

(恍惚とした表情で)

俺様の好き勝手に…

今からグチャグチャに

弄り倒せるって想像しただけで…

脳ミソが…

ドロドロの粥みたいに溶けちまって…

マジで最高に気持ちいい…

俺様の底知れねえ加虐性癖が疼いて…

(肉穴の収縮を表現するように)

肉穴の奥がキュンキュンって…

(大きくのけぞりながらの激しい自慰 3秒)

あー…

ほら…

考えただけで全身が粟立(あわだ)ってくる…

(衣擦れの音を混ぜて)

ボディスーツを

無理やり剥ぎ取って…

この熱を持った

肉穴をズリズリとコキまくってえ…

（我を忘れたような激しい自慰 5秒）

やば…

（汗ばんだ呼吸で）

捕らえたばかりの…

新鮮な実験動物の目の前で…

マンズリしまくって、

熟れ果てた果実みたいに腫れ上がった…

（誇示するように）

俺様の5センチもある

肥大したデカクリを…

（執拗に弄り回す音）

ゴシゴシって…

それを特等席で見せつけてるの…

たまらねー

ああ…

（ピアスを指で弄る音）

先っぽにぶら下げた…

オナコキ用のクリピアス…

それを引っ張って…

ねじ切る勢いで…

（痛みと快楽が混ざった喘ぎ）

自分で自分のマンコ壊しながら…

んふおおお…！

（絶頂へ向かう激しい自慰 5秒）

マンズリで

…無理やりイくの…

(狂喜に満ちた声で)
たまらねー

んふおおお…

んふおおお…！

ひひ…

俺は…

すぐに実験動物の前でサカって…
理性がどこかへふっ飛んで…

(自分の淫乱さを自覚して)

マンズリキメちまうから…

すぐにイけちまうように…

マンズリにピアスしてんだぜ

ほら…もつと…

(命令するように)

俺様の不潔なスケベ声きけよ

(肉の擦れる音を強調して)

人体動物にマンズリ見せつけて…

ズリズリすんのたまんね…

ああ…

(激しい喘ぎを重ねる)

ああイク…

ああイク…ああイク…！

(狂ったようなイクイク連呼の喘ぎ 5秒)

マンズリ始めたばっかなのに…

(自慰の速度をさらに上げて)

肥大化したクリ…

引っ張って…ねじって…

もう止まらねー

（肉穴が収縮する様子を指で示しながら）
まんこ穴を

クパクパさせながら…
俺様の汚ねえ性癖を
晒すみてえに…

（卑猥な腰の動きに合わせて）
腰をヘコヘコさせて…
スケベな変態ダンス踊ってき…

腰をアンタに突き出して…
まんこ…イっちゃう…！

おおおお…！

（絶頂の瞬間）
イク…イク…イク…！

（理性が崩壊したオホ声のアドリブ 5秒）
いぐううう…！

（激しく脱力する音）
おお…
ああ…ヤバ…

（マン汁が飛び散る音）
マン汁を
火炎放射器みたいにぶっ放して…
アンタにかけちゃった

あーあ…
（満足げに笑う）
やっちゃったな…ふふっ
拘束されて…
股を無残に開かされて…

(無防備な股間を見下ろして)

肉棒を丸出しにされてる…

アンタの情けねえ粗チンに…

俺様のスケベなまんこ汁…

(ねっとり絡みつくような声で)

ベツタリとぶっかけちまったな…

ひひ…

(反応を観察して楽しむ)

他人の汚ねえマン汁ぶっかけられてさ…

肉棒をヒクヒクさせて…

(嘲るように)

最高に嬉しそうじゃねえか

なあ…ヒーローくんよお

(左・密着して囁く)

ひひ…

(耳たぶを甘噛みする)

その希望と正義に満ちてた顔がさ…

ふふっ…

俺様の歪んだ性癖で…

(塗り潰すような動作で)

ベツタベタに塗り固められて…

絶望と快楽にぐちゃぐちゃに支配されて…

その綺麗な顔が歪んでいくのを…

想像しただけだよ…

あーあ…

また…まんこズリっちまいそうだよ

(中・近)

ふひひ…

俺様はさ…

アンタみたいな

「正義」っていう高潔な果実を…

時間かけて…丁寧に…

腐らせて汚すのが大好きな変態なんだぜ？

いたぶって…

壊して…

それでいつも思うんだよな…

(名残惜しそうに、ねっとり)

ああ

…もっと遊べばよかった

もっともっと…

この綺麗な肉体を

大事に可愛がってやればよかったてき

そんな風に壊れちまって…

使い物にならねえ肉塊になるのが残念でさ…
ううう

(自嘲気味に)

だからさ…

いつも後悔しながら…

大股開きで、まんこいじりながら…

情けなく喘いでんだよ

なあ…

最高に救えねえだろ？

だから…

アンタは簡単に壊れんじゃねえぞ？
ううう

(中・中)

ほーら…

まずはそうだな…

今日はここで

…たっぷり遊んでやるよ

大股開きで…

自慢の聖剣ちんぽを無様に晒させられて…

(耳元で低く)

恥ずかしいな…

でもよ…ふふっ

とっても素敵だぜ…？

この無垢なイケメンくんは…

(肉棒の根元から先端へ、3回ゆっくりと吸い付くようにキス)

(低く、嗜虐的に)

ほら…

金玉にキスしてやったら…

肉棒が意思を持ったみたいにピクピクして…

うひひ…

何だよアンタ…

俺様みたいな悪党に触られて興奮してんのか？

今からこの肉棒を…

跡形もなく破壊しちまうかもしれないサディストに…

そんな瑞々しい反応してるとき…

ふふっ…

俺様まで興奮して…

またマン汁ぶっ放したくなっちまうじゃねえか

(指先で、玉を転がすように弄ぶ)
ほーら…

まずはこの袋(金玉)だ
ほら…

さわさわしてやるとさあ…

おーおー…

ふふっ…何だよこれ…

肉棒まで…

ずいぶんイケメンじゃねえか

さっきまでだらーんって…

冬の枯れ枝みたいに

垂れさがってた竿がよ…

もう熱を持って、怒張しやがって…

うひひ…

たまんねー…

(最高潮に嘲笑う)

ん…

いいのかあ？

悪の組織の女幹部に…

卑しい肉棒を

弄られてビンビンに立たせるなんてさ…

ふふーん

正義のヒーロー様は…

随分とお盛んな素質があるようだな

(中・近)

(声を鋭く、威圧的に変えて)
でーも…

(キンタマをパチンと激しく叩く音)
オラっ…オラっ…！

うひひ…
なんだよ、

この悲鳴を上げる金玉は！

肉棒しこって…

気持ちよく抜いてもらえんでも思ったのか？

(不良っぽく、凄んで)

あーあん…？

ただの安っぽい快楽になんて…
俺様は一ミリも興味ねえんだよ

“痛みと破壊”…

それから…

恐怖でひきつつて

…絶望に染まったアンタの顔…

その表情が大好物なんだからよ
もっ…

魂の底から恐怖を感じろ…！

(執拗に玉を叩き続ける)

オラ

…オラ…オラっ…！

うひひ…

さっきから金玉を

肉叩きみたいになぶ叩いてやってるとや…

ああ…ビク…ビクって…

ちんぼの竿が痙攣してんの…たまんねえ

ほーら…

こっちか…？

こっちが痛いのか…？

(いやらしく、心底楽しそうに)

うひひひ…

抵抗できない弱者の金玉を…

思う存分ブチ殴って痛めつけるの…

ほんつとたまんねえ…！

(左・密着 喉を鳴らすような脅し)

右か…？ 左か…？

ほーら…

どっちのほうか「気持ちいい」か…

そのキレイな口で言ってみろよ

「気持ちいい」って

言ったほうの金玉を…

跡形もなく潰してやるからさあ…

(さきに激しく叩く)

オラ…オラ…オラっ…！

(中・近)

おーおー…ふひひ

元気だねえ…

正義のヒーロー様の金玉はよお

こんだけ無慈悲にいたぶられてんのにさ…

ふふっ…

まーだ潰れねえじゃねえか

肉棒も金玉も…

殴られ過ぎて内出血して…

だらーんって垂れさがって…

お豆腐みたいに柔らかくなっちゃってんのに…
竿だけはピーンと元気で…

(嫉妬するように)
羨ましいぜ…？

ふふっ…
もしかして…？

アンタ…天性のマゾなのか…？

こーんな風に…
金玉両方とも…

木っ端微塵に潰される直前までぶん殴られて…

それでも肉棒は…
一切萎えねえどころか…

(竿の脈動を指で感じて)
何なら…

さっきよりドクドク興奮してんじゃねえか
この、変態ヒーローがよお…

でーもな…
いくら不潔な変態でも…

救いようのないマゾでもいいんだぜ…？
うひひ…

俺様が

…その歪んだ欲求を全部受け止めてやるから…
その代わりに…

うひひひ…
ちゃーんと…
全部壊して

…俺様が平らげてやるよ

(低く、冷酷に宣告する)

アンタのその情けない表情も…体も…
ぜーんぶ…俺様の「所有物」だ

(やや右・近)

ほーら…じゃーあ

デカくなった肉棒(ちんぽ)も…

実験ついでに…

ちよつとだけ遊んでやろうかな…

(獲物を解剖するように観察する)

ほーら…ふふっ

半包茎の汚ねえ皮を…

ズリズリと根元まで剥きおろしてえ…

あーあ…

何だよこれ…

うひひ…

肉棒の先っぽがヒクヒク震えて…

もう射精寸前の限界じゃねえか

さっきの金玉への暴力刺激…

そんなに「効いた」のか…？

(淡々と、冷たい操作音のように)

ほーら…

ほーれ…

肉棒のデリケートな先っぽを…

(親指で強く擦る)

ゴシって…

一定の強さで…ほら…

（肉棒の先端に鋭い爪を立てて、食い込ませる）
ほーら…

痛ってーだろ…？

おーおー…反応いいな
大抵のオスはここで…

泣きべそかいて許しを請うんだぞ…？

（指先をさらに執拗に変えて）
肉棒の先っぽに…ふふっ
エグい俺様の爪先を立てて…

ほーら…ふふーん
利き手で肉棒を逃げねえように固定して…
もう片方の指で爪を立てて…
亀頭の敏感なところを…

（執念深く）
ゴリゴリ…
ゴリゴリ…

おーおー…
どんどん…
怒張してパンパンに膨らんでんじゃねえか
アンタ…
マゾ適性が高すぎて最高だよ

（愉快そうに）
でーも…
うひひ…
こんなんじゃ…
前戯にもなってねーぜ
このハンサムボーイに…

ふふっ…『（挨拶）として…
一発…残らずぐち抜いてやるよ

（低く、獲物をなめるように）

こーの…殴られて…

ぶら下がって…

ゆるゆるになった金玉から…

ザーメンを

…しーっかり全部…

漏らさせてやるからな

一滴も残すなよ…？

おーら…！

（激しく、暴力的な手コキを開始）

（「壊れろ、壊れろ、壊れろ…！」と激しい畳みかけ 8秒）

普通のマゾなら…

ここで確実に意識を飛ばすレベルの…

エグい亀頭責めだぜ…

裏筋に…

怪人の三百を超える握力を込めて…

一定のリズムで叩きつける…

エグいマゾ専用の手コキ…！

（観察しながら）

うひひ…

肉棒の形…

もう原型留めてねえなあ…！

さっきまで…

まっすぐピンビンだったのが…

ふふーん

…俺様の握力に屈して…

左右にひしゃげるぐらい…

えぐい負荷がかかってるぜ…

肉棒が…

根元からちぎれちまうほどの威力で…
こきつけてやってんのに…

それでもヒーロー様の
イチモツは…うひひ
なかなかにご立派だ

（確信を持って）

でも…

おら…！

もう限界だろ…？

その垂れさがってる金玉を…

（片手で強く握り潰しながら）

ギュって握り続けて…

亀頭を…

ゴリゴリ…ゴリゴリ…！

ほら出せ…！

ほら出せ…！

ほら出せ…！

（左・密着してゾツとするような囁き）

いいか…

一滴でも体内に残ってたら…

このまま金玉を握り潰して
物理的に破壊する…

俺様に

…そんなもつたいたいこと…
させないでくれよ…？

(中・近 低く、逃げ場を奪うように畳みかける)

ほーら出せ…

ほーら出せ…

ほーら出せ…！

精子一匹も残らず…全部だ…

全部…俺様の中にぶちまけてみ…ろっ…！

おーおー…

出てる…

出てる…出てるな…！

うひひ…

肉棒の金玉から…

ははっ…！(狂った笑い)

マジで…

一匹も精子を残さねえんじゃねえかってくらい…

白ーい半固形状の…

粘つくドロドロのザーメンを…

びゅっくびゅくと…出しやがって…！

うひひ…！

(冷たく見下ろすように)

俺様の体を…

真っ白に汚して染める気なのか…？

ヒーロー君…

ふひ…♡

お前のことを絶望で染め上げるのは…

俺様の仕事だって言ってるだろう…？

じゃーあ…

射精したばかりの、

無残に腫れ上がった肉棒は…

ほーれ…

（金属の重々しい音）

金属の枷をガチャガチャ鳴らして…

特製の「貞操拘束具」に収めてやってんぞ？

射精したばかりの…

お疲れちゃんぽ…

これでもう…

今日は…お役御免だ

（淡々と、絶望を宣告する）

最後のお情けとして…

一発だけ射精させてやったけどな…

（左・密着 魂を削り取るような囁き）

ふふーん…

こーの金玉…

これからは

…俺様の人体実験の「苗床」として…

非道の限りを尽くすから…

覚悟しろ…

せいぜい…恐怖に震えて待つてろよ…？

（中・近）

（ガチャリと、重厚な鍵をかける音）

拘束具に…

ほら…嚴重に鍵をかけてやる

これで…

お前の肉棒は…

俺様の「専用オナホール」だ…ふふーん

もうこれからはな…

俺様の許可なしで…

一滴だって…

精子を出すことは許さねえ…

だから…

せいぜい絶望に震えて待ってろ

これから俺様の…

可愛い「実験動物」としてな…

(ねっとり、狂気に満ちた笑み)

壊しまくってやるから…

そのつもりでいろ…

なあ…

ヒーロー君よお…！

(トラック②)

(中・近)

(皮肉たつぷりに、鼻を鳴らして)

ふふっ

…どうだ？ ヒーロー君。

拷問漬けの毎日の、

体調(きぶん)はよお

毎日毎日さ、

ひひ

俺様のえげつねえ調教と

人体実験に付き合わされて…

金玉から、

びゅーびゅーびゅーびゅー…

(搾り取るような手つきで)

ザーメンを、一滴残らず搾り取られ続けてんのにさ

それでも全然ちんぽ、萎えねえどころか…

(勃起した竿を指で弾いて)
むしろ

…快適そうじゃねえか？

ほんと、

調教のしがいがある最高の「雌犬」だよ

ん？

ああ、俺様か？

(絶頂の余韻を感じるように)

もちろん、絶好調だぜ

昨日もな…

お前から

ドロドロに搾り取ったザーメンをさ…

注射器でそのまま、

俺様のマンコ…子宮の奥にぶち込んでさ

(中・密着 下腹部をきすりながら)

それを使って、一晩中だ…

熟れきったマンクリをいじり倒しながら…

ズリ…ズリ…って

(自慰の記憶に恍惚として)

アンタのザーメンを子宮で転がしながら、
飽きるまで遊んでやったよ

(右・密着)

(耳元に唇を寄せて、熱い吐息とともに)

ああ…

俺様の可愛い「種馬」の精子でさ…
今この瞬間も、

俺の子宮…たっぷり満たされてるぜ

(中・近 胎内を弄られる感覚に声を震わせ)
子宮がキュン、キュンって…
獲物を求めて疼いてき…

アンタの野蛮な精子に、
俺様の卵子が

食い荒らされちまうかもって思うと…

(狂気を孕んだ笑い)
ひひっ…！
加虐と被虐の性癖が
一気に爆発して…

うひひひ

5センチ台まで肥大して
赤黒く腫れ上がったマンクリをき…

(ねじり上げるジェスチャー)
ねじり切る勢いで何度も何度も…
自分でマズリぶっこいて、
洪水みたいに潮吹いてイっちゃったぜ

(少し離れて、部屋を見渡す)
ベッドなんて、
もう最悪だぞ…？

俺様のマン汁でびっしょびしょだ
乾いてる場所を探す方が大変なくらい、
アンタの種で壊されちまった…

(突き放すように)
全部、アンタのせいなんだぜ…？
わかってるよな…？

ん？

俺様が、

お前のこと好きかって…？

（一瞬の間を置いて、ねっとり）

…当たり前だろ

俺様はな、

アンタみたいな「正義」っていう綺麗な器を…

時間をかけて、丁寧に…

内側からドロドロに

ぶっ壊していくのが大好きなんだよ

額縁に入れて、永久に保管して…

毎日その絶望顔を舐り回したいくらいにな…

でもな…

時間は止まってくれねえ

だからさ…アンタを完全に壊して…

（骨までしゃぶるような声で）

残さず平らげるその瞬間まで…

毎日毎日

…楽しく、仲良く…「飼育」してやるよ

（中・近）

（医療器具を弄る金属音）

ほーら…ふふん

今日は…

このよく肥えた金玉で、

たっぷり遊ばせてくれよ

もちろん

…その辺の生ぬるい遊びじゃねえ

(冷酷に宣告する)

この金玉を徹底的に破壊して…

アンタの肉棒を

「早漏のメス雑魚」に仕上げてやるんだからな…

普通の女とのセックスなんて、

もう二度と成り立たねえ…

(嘲笑)

触られただけで中出ししちゃう…

欠陥品の早漏ザコちんぽに育ててやるよ

楽しみだろ…？

ん？

どうやって、かって…？

(アンプルを指で弾く音)

ほーら…これだよ、ふふっ

俺様特製

…「ザーメン超超増強剤」だ

これを金玉に直接フチ込まれるとさ…

ちんぽと金玉が

狂ったみてえにザーメンを作り始めてー

(膨らむ様子を指で示し)

金玉は破裂寸前まで肥大化…

精子を出し続けないと、

内側から爆発しちゃう…

最高にエグい代物だろ…？

アンタのために、

三日間寝ずに調合したんだ…感謝しろよ…？

あーあ…たまんねえな

金玉が壊れる恐怖で…

無理やり精子を出し続けなきゃいけねえ状況…

(ゾクゾクと声を震わせ)

その惨めさ…

その情けなさを想像するとさ…

また今すぐマンクリをいじり倒して、
ぶっ放しちまいそうになるぜ…

…けどな

これからアンタが見せてくれる

「無様な姿」の方が…

ずっと美味しくて、そそるからさ…

(我慢するように)

マンズリは今は我慢してやるよ…ふんっ

ほーら…

(金玉を強く掴んで固定する)

金玉の袋に

…極太の注射針を…ブスツとな…！

(相手の苦悶の声を楽しむ)

…なあ、

想像してみろよ

これから精子が

暴走するみてえに作られて…

射精、射精、また射精…

アンタの肉棒はな…

「出すのが当たり前」になるまで、
早漏に壊されていくんだ

女とマンコしようとしても…

(挿入する前の情けない姿を嗤う)

挿入する前の、

入り口をこすっただけで―

びゅびゅっ…！…って、

情けなく中出しして終わり…

そんな「早漏の種馬」に、じっくり育ててやるよ

(優しく囁くように)

でも…ふふっ

そうやって壊されたところがさ…

一番、気持ちいいんだぜ…？

ほーら…

俺様特製・ザーメン増強剤…

(ピストンを押し込む音)

注入…開始だ…！

(金玉の脈動を指で感じて)

おーおー…ふふーん

左の金玉が

ビクンビクンしてやがるぜ…！

まるで別の生き物みてえに、

グロテスクに脈打って、鼓動して…

いいね…これは、そそる…

ほーら…

今度は逆側の金玉にも、

俺様の「ドロドロの愛」…注入してやるぜ

(二本目の注射を刺す)

おーおー

…ふっ、おもしれえな…!

左右で、微妙に反応が違うぜ…?

こっちの金玉は…

ひひ

(皮の中で動く玉を追う)

金玉の袋の中で、

玉が泳ぐみてえに活性化して…

グリングリン、踊ってやがる…!

踊りながら、

ザーメンを大量生産してるとか

…最高に素敵じゃねえか

ほーら

ひひ

今すぐ射精しねえと…

金玉が精子を作りすぎて

…内側からぶっ壊れちゃうぞ…?

ふっ…? なになに…?

拘束されてて、

自分じゃ竿をシコれねえから…

(ねだる声を真似て)

「俺様にやってほしい」のか…?

この金玉を生かすために…

ちんぽをシコって

…ザーメンをぶっ放してほしいって…?

ふーん…いいぜ

まずはお祝いのサービスだ…

一発、ぶっこ抜いてやるよ

ほーら…

(金玉の根元をうっ血するほど強く締め付ける)
根元から金玉ごと締め付けて…

怪人の握力で

…ゴリ、ゴリ、ゴリ、ゴリ…!

ん? なんだよ…

(不満を漏らす相手を睨みつけ)

「ちゃんと竿をシコってくれ」だと…?

こんなふうに、

金玉をひねり潰されたら…

竿までねじ切れるってか…?

(冷たく突き放す)

…なに甘えたこと抜かしてんだ

どんなに痛くても…

どんなにキツくても…

今すぐ射精しねえと

…金玉、爆発しちまうだろ…?

ほーら…

両方の金玉

…もう余裕がなくなるくらい…

パツパツに膨れ上がってるぜ…?

今すぐ射精しねえと、

また精子がごんごん作られて…

内側からグチャグチャに壊れちまうぞ…？

（左・密着 耳元で激しく煽る）

ほら、イけ…！

ほら、イけ…！

ほら…イ、けっ…！！

（中・近／観察するように）

（精液が噴き出す音）

おーおー…トプ、トプって…

（粘り気確かめるように）

すっげえ量のドロザーメン…出しちまったな…！

（愉快そうに）

でーもよ…

金玉がバウンドするみたいに脈打って…

精子を作る量のほうが

…完全に勝ってるぜ…？

（脅すように、低く）

ほーら…急がねえと…

このまま金玉が破裂して—

ぶっ壊れて…ふっふっ

（男としての尊厳を奪う笑い）

「玉なしの去勢雑魚」になっちまうぞ…？

（煽る）

ほら、もっとだ…！

もっともっと精子、

出してみろよ…ふっふっ

（手の位置を亀頭へ移す）

今度はな…

肉棒の亀頭「だけ」を—

(手のひらで押し潰すように)
エグい手のひらで…

ゴリ、ゴリ、ゴリ…っと、
凝りつけてやるよ…ひひ

(手応えを確かめて)

おーおー

…いい塩梅だ…

さっき出したばっかりの竿から…

また大量のザーメン、

ぶっ放せそうじゃねえか…！

(嘲笑)

いいな

…「早漏」って、最高に惨めだぜ…？

ほーら

…だ、せつ…！…！

(射精を眺めて)

おーおー…！

(汚物を見るような、それでいて恍惚とした声で)

トロトロって…半ゲル状のザーメン…また射精か…！

(二発目を評価するように)

二発連続なのに

…まだ…こんなに出るとか…

大した「種馬」だぜ…

(手を離しながら)

でーもな…ふーん

俺様の手のひらも

…さすがに疲れてきたぜ

(突き放すように)

これ以上、

竿をいじめてやるのは

…今日はここまでだ

(つまらなそうに)

こんな普通の手コキじゃ

…俺様、全然おもしろくねえしな…

それなら

…金玉を爆発させるほうが…

(残虐な笑みを浮かべて)

…楽しそうじゃねえか…？

(腰を振る相手を眺めて)
ん？

(必死に腰を振る様子を唾う)

「シコって、シコって」だと…？ ふふーん…

(腰の動きを指差して)

腰を前に突き出して

…肉棒をブルンブルンさせながら…

(嘲りと称賛)

いいねえ…！

正義のヒーロー様が…

哀れで…醜くて…ゲスで—

(喉を鳴らす)

それでいて

…実に素晴らしい「雌」の姿だ…！

(自制するように)

そんな姿見せられたら…

俺様までマンズリしたくなっちまうだろ…？

うひひ

少しは自重しろよ…

(声色をねっとり変えて)

じゃーあ…

俺様を興奮させた「ご褒美」に…

今度は「こっちの穴」で…射精させてやるよ

(指を一本ずつ見せびらかす)

ほーら…

俺様の…なっがーい指…

(いきなり指を突っ込む)

(挿入)

オスまんこに…ずぶつと挿入…!!

(リズムをつけて)

オラ…オラー…!! ふふっ…!!

(意外そうに)

…なんだよ、ヒーロー君…

(指を出し入れして)

ケツ穴…すんなり指が入っちゃったぞ…?

(探るように)

現役時代…

こっちの穴で…「雌遊び」してたクチか…?

(責めを強めて)

ほーら…!!

ケツ穴を指でファックされて

…ズリズリほじられて…

(揺れを観察)

でっかくなった金玉を

…ユツサユサ揺らしながら…

肉棒をフリフリして…！

(囁くように)

なあ…？

「こっちの穴」でもイカねえと…

金玉…爆発しちまうぞ…？…ふんっ

(状況説明)

さっきから

…金玉の中で

ミチミチって音がしてるぜ…？

もうザーメンが溜まりまくって

…限界寸前じゃねえか…！

(命令)

ほーら

…イってみろよ…ふんっ

ケツ穴…こんなふうに…

(前立腺を強く擦り上げる)

ちよつとゴリられただけで—

(煽り続ける)

金玉からザーメンをぶっ放して…

竿から…ぴゅどぴゅ…って…

(屈辱を与えるように)

「メスイキ」できるように…頑張ってみろよ…！

(テンポよく突き上げる)

ほーら…！ ほーら…！ ほーら…！ ほーら…！

(反応を見て)
ん？

ふふーん…いい子だなあ…
ちよつとケツ穴をスポられただけで…
竿から射精しそうなのか…？

(見届ける宣言)
いいぜ…ちゃんと…

(顔を近づけて)
アンタが壊れるところ
…見ててやるよ

(低く、期待を込めて)
かっこいいヒーロー君の―
初めての…「メスイキ」…！

(クライマックスを煽る)
デカ金玉をゆきゆき揺らしながら…
肉棒からメスイキ射精できるところ…！

(命令)
俺様に…見せてみろ…！！
ほら…イけ…！
ほら…イけ…！
ほら…イつけえええ…！

(中・近／射精を観察して)
(メスイキによる激しい射精音)

おーおー…！
トロトロって

…『ザコザーメン』が出ちまったな…！
(一息つく間も与えず)
でも…まだ終わりじゃねえぜ…？

（指を三本に増やす）

ほら…指を一本から三本に増やして—
今度は奥を突き上げるようにさ…！

（弱点を探り当てる）

ヒーロー君の弱いところ…

こうやって指先で

…グリングリン…！

ほーら…！

オス穴のスポットを

…徹底的にいじめてやってんぞ…？

（命令）

ほら…！

金玉からザーメンぶっ放して

…また果ててみるよ…！

（煽り続ける）

何度でもだ…！

「早漏ザコイキ」…！

金玉を壊されねえために—

精子をビュルビュル出して…！

（成長を喰う）

肉棒を

…どンドン早漏に仕上げられて…
完全に壊れていけよ…！

ほら、

イけ…！

ほら、イけ…！ ほら、イけ…！

(射精を評価)

(連続射精による脱力音)

おーおー

…まーた見事な射精だぜ…

バカみてえに

…ちんぼの先っぽから…

ドロドロ出しやがって…！

(嘲笑)

情けなくて

…最高に素敵だぜ…

(さらに指を増やす)

ほーら…今度は四本だ…！

(拳をねじ込むような勢いで)

ゴリ…ゴリ…ゴリ…ゴリ…！

(相手の喘ぎ声を聞いて)

…なんだよ、その声…！

完全に「メス」じゃねえか…！

指四本もらって…精子出したくらいで—

(相手の声をなぞる)

「イク」「好き」「好きい…！」「って…

な—に俺様に

…「好き好き宣言」してんだよ…！

(冷たく突き放す)

俺様はな…

お前が苦しむ姿が…大好きなんだよ…！

だから…もっと苦しめ…！
もっと無様に壊れてみろ…！！

(畳みかける)

ほら、イケ…！

ほら、イケ…！ ほら、イケ…！！

(中・近／呆れたように、愉快そうに)

(さらに射精を確認して)

お…ふ…ん

俺様に可愛がられてる姿を

…頭の中で思い出して―

ケツ穴で

射精したのか…？

(心底蔑むように)

…この、変態雌犬が…ふ…ん

(状況を整理するように)

じゃーあ…

さっきの薬の効果だな…

(左・密着 さきさき)

あと

…5時間くらいはきっちり効き続けるぜ…

(中・近 支配的な宣告)

その間はせいぜい

…俺様のことで頭いっぱいにながら…

自分で勝手に―

ザーメンを漏らし続けろ…

(囁くように)

一切

…ちんぽに外部刺激はなしだ…

触られることも

…抜かれることもねえ…

脳みその中で

…俺様の声…表情…扱われ方…

それを何度も何度も反芻して…

(愉快そうに)

何回でも

…「脳イキ」しろよ…ふーん

(少し低く)

それがな…

「本当に壊れる」ってことだ…

(見下ろすように、余韻を残して)

でも安心しろ…

代わりにな…

(不敵な笑い)

ずーっと俺様が…

お前のこと…見ててやるよ…

(静かに、執着を込めて)

その情けない姿も…

勝手に漏らす精子も…

ぜーんぶ…俺様の宝物だからな…

(トラック③)

(中・中／屋外・雑踏音と喧騒を想定)

ひひっ…どうだあ？

久々に吸う娑婆の空気は…。

うまいだろ？ ひひーっ…。

（足元から舐めるように見上げるジェスチャー）
俺様特製の…ひひっ。

エグい破壊力の量子爆弾―
アンタのその

…マゾ肉のついた金玉に、
しっかり装着してやったぜ

そのうえで…

昔のヒーロースーツを着せ直してやったが…

（布を引っ張る音）

もちろん面積は

…局部を強調する

“せませま”な露出狂仕様に…

丁寧に、

淫らに改造済みだけどな…ひひっ。

（汚れた指で丸出しの部位を示す）
ほら見ろ…

肉棒（ちんぽ）は完全丸出し…

太もも…腹…脇…

あちこち無防備に、

露出狂みたいに晒してやがる

しかもだ…

俺様が直筆で…

（肌をなぞるように）
なっけな…い

「性奴隷の烙印」…落書きしてやったぜ

「ザコヒーロー」

「早漏のよわちんぽ」

「金玉でしか考えられない無能」

ーってな…。

全身に、一文字ずつ丁寧…

(ねっとり)

街中の連中が読みやすいように
書いてやったぜ…ひひーっ。

(周囲の視線を煽るように見渡す)

駅前の一等地で

…その格好のまま立たされてる
気分はどうだあ？

正義の味方サマよお…。

異能戦隊・正義のセイバーフレームが…

ガニ股で…。

薄汚ねえ生肉棒を

ぶら下げたまま…駅前に立ってる

(含み笑い)

ひひっ…あーあ…。

町の皆様に

「変質者」として見られながら…

媚びるように腰を引いて…

情けねえ醜態をさらして…。

それを見てるだけで…

俺様のマンコロ

…ゾワゾワ騒いじゃうよ…ひひっ。

(低く、耳元で脅すように)

でーもな…忘れんなよ…？

俺様が気分次第で…この遠隔ボチつとなボタンを押したら…

アンタの金玉もろとも…

この町」で、

一瞬で“ドボン”だ

(余裕たつぷりに鼻を鳴らす)

ひひっ…

アンタが必死に

…俺様の機嫌を取ってるからさ…。

この町のゴミ共は

…今、生かされてるんだぜ…？

その事実…

(アンタの肉棒を指で弾いて)

しっかり脳ミソと金玉に刻んどけ…ひひっ。

(周囲の反応を指差して笑う)

ほーら…ひひっ。

あっちのJKが

…ひそひそ笑いながら

スマホ向けて写真撮ってるぜ…？

笑われて…バカにされて…

(反応を観察)

それでまた

…肉棒がピクって…歓喜してんのか…？

ほんと

…情けねえマゾ犬だなあ…ひひっ。

(視線を追って、さらに追い詰める)

あっちの主婦どもはどうだあ？

生ゴミを見るやつな目で一瞥して…

娘の目を手で塞ぎながら

…足早に逃げていくぜ…？

…でもな…ひひっ。

完全には目を逸らしてねえ…。

チラチラ見て…アンタのこと…

（ねっとりと）

心の中で

「汚らわしい性犯罪者」

だって侮辱してんだぞ…？

いひひっ…！

（心底バカにするような嘲笑）

ヒーローがこんな無様な格好で…

マゾ肉棒をフリフリさせながら…。

必死に

“町の皆様を守ってる”のに…。

冷てえもんだよなあ…。

（命令口調で凄む）

ほーら…！

なっさけないガニ股のまま

…肉棒をもっと振れよ…！

皆様に

…アンタの早漏ちゃんぽを

よく挿んでもらえるようになあ…！

その粗チン…止めんな…！

（腰を叩く音）

振り続けろ…！

ほーら…！ ほらほらほら…！…！

(中・中／監視カメラの映像を切り替えながら)
ひひっ…おーおー…。

いいじゃねえか

…なかなか「完成された家畜」に近づいてきたな…。

こんなになっけなーい姿

…街中でさらされてんのにさ…。

肉棒(ちんぽ)はもう…

(カメラをズームさせるように)

怒張してガッチガチじゃねえか…！

恥ずかしきで

勃起とか

…最高にマゾな雌犬だな…？ ひひっ。

(愉快そうに画面を指差す)

ほーら…！

俺様がこの町中に仕掛けた監視カメラ…

全部、

今つながってるぜ…！

上からも…横からも…。

駅前の大型モニター越しにも—

(画面のアンタに向かって)

お前の情けない姿

…しっかり「鑑賞」してやってんぞ…？

(囁くように、脳内に響かせる)

なあ…？

“全世界に見られてる”って思うだけで…
金玉の奥がゾクゾクしてきてるだろ…？

ほら

…俺様が見てる…街の住民も見てる…。

だから―

そのまま「見せつけ射精」してみろよ…！

（左・密着 さきやき）

情けないザコザーメン…。

肉棒フリフリさせながら

…街中でイけ…！！

この…

ザコヒーローが…！！

（射精の瞬間を嘲笑う）

（精液が飛ぶ音）

おーおー…ひひっ…！

あーあ…見られてる…見られてるぞ…！

数千人の視線を浴びてるだけで…

（蔑むように）

精子を飛ばしちまう

…救いようのない変態…。

なあ…？

もう気づいてるだろ…。

名実ともに

―お前はもうヒーローじゃねえ…。

ただの

…晒し物の「雑魚家畜」なんだよ…ひひっ…！！

（右：近 疑問を投げ、残酷な提案をする）

…ん？ まだ信じられねえか…？

じゃあさ

…今までアンタが“守ってきた”街の住人に…

今度は助けてもらえるか―

俺様と

「命がけの賭け」をしてみるか…？

（ニヤリと笑い、条件を提示する）

もしだ

…俺様が賭けに負けたら
その場で解放してやるよ。

金玉につけた爆弾も解除

お前を

“元通りのヒーロー”に

戻してやるよ…ひひっ。

（爆弾の仕組みを説明する）

ほーら

…アンタのマゾ金玉に密着してる爆弾…。

右側に

…赤いスイッチ…あるだろ…？
それをな…

（誘惑するように）

「町の住民」に

…ポチッと押してもらえ。

（甘い毒を吐く）

もーし

…誰か一人でも押してくれたら―

金玉は無事

…爆弾も無効化。

すべて、

ハッピーエンドだぜ…？ ひひっ。

（爆笑）

ま

…こんなガニ股で

…肉棒振り回して…

勝手に射精しちゃうようなド変態の—

（金玉を汚いものでも触るように）

薄汚いマゾ金玉についでるボタン…。

触ってくれるお人好しがあれば、

の話だけどな…！？ ひひっ…！

（命令）

ほーら

…！ お願いしてみろよ…！

（嘲るように声を真似て）

なっさけな〜くよお…！

（腰を振らせる）

腰をへこへこさせて…！

（セリフを強要する）

「僕は異能戦隊セイバーフレームです…！」

「皆様の安全を守るために…！」

ひひっ…！

肉棒振りながら

…爆弾が爆発しないように…

頑張ってます…ってや…！

(さらに残酷に追い込む)

言ってみろよ……！

「街の皆様……協力お願いします……！」

「僕の金玉についたボタン……押してください……！」

「お願いします……お願いします……！」「つてな……！！」

(周囲の無残な反応を実況)

おーおー……ひひっ……。

(人々が避ける音)

ゴミを投げられて

……笑われて……

「死ねよ変質者」って

……侮蔑の言葉を浴びせられて――

(心底愉しそうな嗤い)

ひひっ……！！

必死に命懸けで守ってた街の連中に……

……ここまで嫌われて

……拒絶されてる気分はどうだぁ……！！？

(観察を続ける)

それなのに……。

アンタのマゾ金玉は

……どんどん仕上がって……。

恥ずかしさでフル勃起……。

屈辱で

……さらに脳ミソまで興奮して……。

……ほんと……

(ねっとり)

救いようのない変態だなぁ……。

（自らの昂ぶりを伝える）

おお…ヤッバ…。

俺様まで

…興奮してきちゃったじゃねえか…。

（余裕を持って、腰をなぞる）

ああ…。

まんこを

…ズリズリっしてしながらき…。

お前のその

…情けない「公開痴態」―

最後まで

…じっくり見続けてやるよ…ひひっ。

ほら…！…ほら…！…ほら…！…！

（オナニー 8秒）

おお…ヤッバ…！

誰にも相手にしてもらえねえ

…孤独な変態ヒーロー…。

マジで滑稽すぎて…ヤベえなあ…ひひっ。

お…？…何だ…？…ひひーっ…。

（カメラを一箇所に固定）

あっちから歩いてくる

…そのちっこいのは…。

昔…セイバーフレームに命を助けてもらった

「少女」かぁ…？

ひひっ…。

「お兄ちゃんの役に立てるなら…頑張ります…！―」って…。

ひひっ

…可愛い少女だ

…とっても素晴らしいなあ…？

ほーら

…ガニ股でしっかり腰を突き出して…！

（少女の目線に合わせて）

金玉にある

ボタンを押してもらえるように…

頑張ってるお前の姿…ひひーっ…！

とっても滑稽で

…最高に画になるなあ…！！

このままボタンを

ぼちっと押されちまうと…

俺様の負けかしんねえな…？

じゃーあ…ひひーっ…！！

（冷酷な命令）

今から

…そのロリガキの顔をオカズにして…
シコって射精しろ。

もーし…やらねえと…

遠隔地に配置した

…俺様の部下の攻撃で…

そのロリガキ

…今すぐブチ殺させんぞ…？

ん？ 何だよ…？

（しらばっくれて）

別に…そんな約束してねえだろ…？

お前以外の民草をどうしようが

…俺様の勝手だろ。

なんせ俺様は

…悪の組織の幹部様だからな…ひひっ。

「悪いこと」は…大得意なんだよ…!!

ほーら

…やれやれ

…やれやれ…やれやれ…!!

ロリガキの顔をオカズにしながら…!

唯一自分を信じてくれた

…いたいけな少女の顔を見ながら…!

(腰を激しく振らせる)

ガニ股ヘコヘコ野郎として肉棒を握って…!

ほーら…!!

ザコ精子を

…ぶっ放してみろよ…!!

おお…!

シコってるシコってる…ひひっ…!

少女の困惑気味の顔と…

周りの冷ややかな視線…。

それでお前の肉棒は

さらにドクドク勃起して…

射精したがつてるじゃねえか…!

ああ…いいぜ…?

ほーら

…出せ出せ…! 出せ出せ…! 出せ出せ…!!

もちろん出すときは…

(悪魔の囁き)

そのロリガキのまんこ目掛けて…
ぶっかけて射精してやれ…!!

ほーら…!

人として

…正義として

…すべてを捨てた「ザコ精子」…!

出してみろ

…! だ、せえええ…!!

(精液が勢いよく噴き出す音)

おーおー…!

ロリガキに勢いよく…

ドロドロのザーメンぶっかけやがって…!

ひひっ…。

泣かれて

…蔑まれて…さらされて…

(最高にうれしそうに)

おーおー

…ひひっ…!!

金玉をロリガキに思いっきり蹴り上げられて…

(アンタの悲鳴を真似て)

「んほおおおーっ…!」って声…。

惨めで

…最高で…

なっさけなみすぎで…たまんねえなあ…!!

ヤッバ…！ 俺様も

…今のでまんこ…

イっちまったかもしんねえ…ひひっ。

お役目ご苦労さんだったな…。

さーてと

…じゃーあ…ひひー…。

(左・密着 悪魔のささやき)

全部終わったから

…このまま俺様の元に戻ってこい。

もうわかっただろ…？

お前には戻る場所なんて…

(ねっとり、独占欲を込めて)

俺様の

「実験室」以外にねえんだから…。

しっかり戻って来ねえと…

その金玉についた爆弾

…木っ端微塵に爆発させっからな…？

俺様の元に

…さっさと帰ってこいよ…？

わかったか…？

(気持ち悪い笑い声の余韻)

ひひっ…ひひ…ひひーっ…！！

(トラック④)

(中・近)

(ねっとり、獲物の絶望を舐るような含み笑い)

ひひっ

…本当に、

いいのかよお…ふふーん。

マジで、

…お前、最高に「壊れてる」なあ…！

悪の組織の、

逃げ場のない地下牢…。

ここに雌犬みたいに拘束されたまま—

ひひ

二度と俺様の元から

離れられなくなつたつてのにさ…。

それで、

そんな恍惚とした

ツラができるのかよ…ひひっ。

(見下ろすように、肉棒を指先でなぞる)

まさかよお…。

こーの、

熟れきった金玉を

…俺様に「差し出す」なんてさ…。

出血大サービスにも程があるだろう…？

ひひーっ。

この肉棒が、

全部悪いって思ってたんだろ…？

正義を捨てたのも

…ただの家畜にまで堕ちたのも―

全部全部、

この肥大した金玉のせいだって…。

…そう思い込んで、

楽になりたいんだよな…？

（声をさらに低く落とし、核心を突く）

でーも

…ちげえよ…？

悪いのは

―全部、お前自身の「性根」だ…

俺様に負けたのも…。

その汚ねえ性欲を

我慢できなくなったのも…。

「家畜」として生きる道を選んだのは

…ゼーんぶ、お前自身だ。

（楽しそうに、首筋に息を吹きかける）

それなのにさ…。

この金玉を差し出して

…「取ってください」だと…？

ひひっ

…！ 相当、

仕上がってきやがったな…。

その

…「心まで腐りきった壊れ方」

…最高にそそるぜ…！

その絶望顔

…その惨めな姿…。

それを見てるだけで

…俺様の肉穴がキンキン疼いてき…。

また、マズリしたくなって

きちまうじゃねえか…。

どんだけ俺様を

興奮させりや気が済むんだ…？

ほんと

…罪深い家畜(メス)だぜ…ひひっ！

(不気味に、短く笑う)

…ひひっ。

大好きな

…俺様だけの専用ペット君からの

お願いだもんな…？

そりゃあき

…聞いてやらねえわけ、

ねえだろ…うひひ

(ゆっくり、魂に刻み込むように言い切る)

人体実験動物として―

お前が「無価値な肉塊」

になる最期の瞬間まで…。

しーっかりと

…俺様が責任持って、面倒見てやるよ。

(中・近)

(低く、嗜虐的な悦びに満ちた声で)

ほーら、

見えるか…？

お前のこの

…うっ血して赤黒くなった金玉と肉棒を…

根元から

ギチギチに縛り上げている

…ひひっ。

俺様特製の

…「性器切断・強化バンド」だ…！

これがスイッチ一つで、

ギューツと締め上げられると…

お前の忌まわしい性器が、

肉を焼く音を立てて

ブチブチってちゃん切られて…

「男」としての機能は、

完全に終わりを迎えるんだぜ…

俺様が指をパチンと鳴らすだけで…

今すぐお前の金玉は

…お前の胴体と

「泣き別れ」になっちまうんだ…。

(少し間を置いて、相手の覚悟を弄ぶ)

ひひっ…！

でももう

…覚悟はできてんだろ…？

ほーら

…そんなに俺様を感じさせんなよ…！

その

…決意を固めた凛々しい表情と

逆に本能で

ビクビク震え上がってる金玉…。

見てると愛おしすぎて

…俺様のマンコロも

ねじり切りたくなっちまうだろうが…！

（下劣な含み笑い）

ひひっ…。

でも安心しろよ…。

その素敵な

「元・正義のシンボル」は

…俺様のコレクション・ボトルに入れて…

死ぬまで鑑賞してやるからよ…

（慈しむように、しかし残虐に）

この金玉を

…しーっかりと

「介錯」してやるために…

最後は俺様が

…最高に可愛がってやるからよ…！

（中・密着 声を落として、身体を密着させる）

ほーら

…俺様のこの

…デカイパイオツで…。

お前のその金玉

をコスコスして…ほら…。

「最後の女の感触」

…その脳ミソに

しっかり刻み込んでおけよ…？

あいにく怪人の

デカパイだけだよ…。

金玉の最期の思い出には

…これ以上ない「地獄」だろ…？

ほーら

…金玉をパイオツで

慰めズリズリしてやるから…。

ほーら…

せいぜい最期の快楽…楽しみよ…ひひーっ！

（興奮を隠しきれない声で）

お…！

金玉まで…血管を浮き上がらせて

ガチ勃起してきやがって…！

主張の激しい、卑しい奴だ…！

こんな

…イケメンな肉棒竿（ちんぽお）は

…ふふーん。

もっと

…じつくり、

壊れるまでかわいがってやんねえとなあ…！

（囁き寄り、支配的な口調で）

ほーら…！

俺様の

…このなつがーい舌を絡み付けて…。

肉棒(ちんぽ)から

「最期の射精」を搾り取ってやるよ…！

ほら

…長い舌でお前の肉棒を

…根元から先っぽまで…。

【フェラ開始】ヌチャ、ヌチャという湿った音を意識して
ズリズリ

…ってしてやって…。

(フェラ 5秒)

ほら

…俺様の舌…気持ちいいだろ…？ ひひっ。

こーんな

「早漏のザコちんぽ」

…すぐにイかせてやるからよお…。

ほーら…！

ほらほらほらあ…！…！

(フェラ 5秒)

(落ち着いて、口を開く準備をする)

おーおー

…肉棒を俺様の粘つく体液で

ヌルヌルにしてやった後は…。

(フェラ 5秒)

ほーら…

お前の「ザーメンの種」を
全部抜き去るために…。

この「口まんこ」で

…たっぷり可愛がつてやるからよお…。

(低く、獲物を煽り立てるように)

(激しく、深く吸い上げる音)

ほら…!! ほら…!! ほら…!!

(フェラ 5秒)

おお…!!

お口で

…肉棒竿(ちんぽ)を

…ナーメナメしてやってんぞ…?

(舌の動きを強調して)

なっがーい舌で

―根元から、先っぽまで…。

ズーリズリ…!!

(粘つく音)

毒蛇の舌使いみてえになあ…!!

エロい扱かれ方されながら

…俺様の口の中で―

(強くバキュームする音)

吸いつけ…!!

じゅーる、じゅる…。

じゅーる、じゅる…。

肉棒竿(ちんぽ)を…。

気持ちよくしてやってるぜ…ひひーっ!

(間。相手の反応を確かめる)

ああ…!!

腰が

…前に突き出てきてんなあ…?

スケベな

…肉棒(ちんぽ)しゃぶりで…。

ああ…！

気持ちよくなりすぎてー

もう

…一滴残らず出ちまいそうか…？

（出すのを食い止めるように強く吸い、喉を鳴らす）

でも…まだ駄目だぜ…。

まだまだ

…「絶望」を楽しめよ…。

お前の

―「最期の射精」なんだからなあ…！！

ほーら…！

ほら、ほら、ほら、ほら、ほら…！！

（フェラ 8秒）

（観察するように、顔を離して嘲笑う）

ああ…。

ビクビク…。

金玉が…射精の準備に入ったな…。

「これが最後だ」と思って

…ひひ

全力で

…金玉の底からザーメンをかき集めて…。

俺様の口の中に

―「特大ザーメン」

を発射するつもりだろ…？ ひひっ。

（全てを飲み干す宣言）

いいぜ…？

全部…俺様が飲み込んで、受け止めてやるよ。

ほら、

来い……！

ほら、来い……！

ほら、来い……！！

（フェラ 5秒）

全部のザーメンを

…俺様の喉で受け止めて—

極上の射精

…させてやるからよお……！！

（声を低くし、一気に攻め立てる）

ほーら……！

この「口まんこ」の中で—

精子一匹も残さず

…全部、絞り取ってやるよ……！！

ほら…来いよ……！！

（吐息混じり、激しい吸引音と嚥下音）

おおっ……！ おっ……！ おおっ……！

いぐちうちうちう！

（喉を鳴らす音）

ヤバ…ヤバ……！

こーんな…濃くてドロドロの…。

俺様の…「口まんこ」の中に—

びゅーびゅー……！ びゅーびゅー……！！

（喉に当たる音）

中出し

…しやがって……！ ひひーっ……！！

（愉快そうに、自身の下腹部をぐすりながら）

ああ…。

俺様…自分の「肉穴（まんこ）」も…

快樂に当てられてクパクパしてき…。

今―「マンコイキ」

…勝手にしちゃったじゃねえか…！

この

―テクニシヤンの「つよオス」め…ひひーっ！

（落ち着いて、口元の汚れを拭う）

じゃーあ…。

ふふーん。

もう

…お前に

―思い残すことは、ねえな…？

しーっかり

…お前のその、

絶望に歪んだ表情―

俺様が

…地獄の底まで見届けてやるよ。

ふふっ…。

今から

―「肉棒(ちんぽこ)」没収だ。

（残酷な現実。装置の作動音）

（右・近）

（低く、冷酷に淡々と）

ほーら…。

「終わり」を

―始めようぜ。

（指をパチンと鳴らす音）

（間）

おーおー…。

(右・密着 ささやき)

金玉の

…中から聞こえる「ミチミチ」っていう

…肉が千切れる音…!

肉棒竿がき…。

生き残りたいて

―ビクビク、ビクビク…。

まるで

…お前とは別の生き物みてえに…

必死に

…無様に生きながらえようとしてるぜ…。

(少し愉快そうに、装置を眺める)

でーもな…。

俺様の

―この強力な締め付け輪っかは

…逃がさねえ。

ほら…!

ブチブチ…ブチブチ…! って…。

(肉が裂ける生々しい音)

両方の金玉が…まとめて、壊れて…。

肉棒(竿)も―ほーら…。

サクッ…てな…。

(装置から外れた肉塊が落ちる音)

取れちゃったな―…? ひひーん。

(間)

お前と肉棒は…。

―永遠に「泣き別れ」だぜ。

ふふっ…。

ご苦労さんだったな。

(中・中)

(床に落ちたものを、軽くつまみ上げる気配)
ほーら…これ…。

「コレクション」として

…俺様がもらって帰るからさ…。
うひい

素敵な…「元オスのプレゼント」…。
ありがとよ…？

(皮肉たつぷりに)
ヒーロー君…。
ぐふふっ…。

(小さく首を傾げて、慈しむような声で)
…いや。
「ヒーローちゃん」…かな…？

もう…お前は―。
男としての「証明」も…誇りも…。

(下腹部を指差して)
全部失ったんだからな…。
ふふーん…ひひっ。

(落ち着いて、去り際に囁く)

じゃーあ。
せめて…もう少しだけ…。
俺様を…楽しませてくれよ…？

（左・密着）

…の。

救いようのない…「玉無し野郎」…！

（遠ざかる足音と、不気味な笑い声）

ひひっ…ひひ…ひひーっ…！

（トラック⑤）

（中・近）

（ねっとり、獲物の変わり果てた姿を舐め回すような冷笑）

ひひっ…あーあ…

ひひ

いい格好じゃねえか、おい。

フリフリで、

ピンク色の、可愛らしい「魔法少女」…。

（布地を指で弾く音）

正義の戦いから無様に脱落した

…俺様専用の「オナホ君」は―

こーんな淫らな恰好で、

俺たち怪人の、

慰み者になるのがお似合いだぜ。

俺様が直々に手術して、

こじ開けてやった「メス穴（まんこ）」も―

（指を入口に押し当てて）

ひひっ…。

ちゃんと、

受け入れる形になってるじゃねえか。

なあ、どんな気分だ…？

誇り高き正義のヒーローから、
汚物みたいに引きずり落とされて…。

大切な金玉を奪われて
— ひひ

一生、女として犯される
「家畜」にさせられた気分は、
どうだあ…！？

ふふーん。
それでもさ、

…アンタのその眼だけは
— まだ、消えねえ光を失ってねえ。

そこがな

…俺様をさらに興奮させる、
お前の「最高に壊しがいがあるところ」だぜ。

じゃーあ…。

ほーら、

ひひ

今から

— 俺様に「抱かせろよ」。

アンタのその、

穢れたメス穴の…「初陣式」だぜ。

(装着したペニバンを揺らす)

ふふーん。

こーれ、見ろよ。

俺様の股間に、誇らしげにぶら下がってる「これ」—。
妙に、懐かしくねえか…？

そうだぞ

…うひっ。

アンタから

…さっき「頂いた」

—アンタ自身(ちんぽ)だぜ。

これでな

…アンタのこと

…完膚なきまでに

頂いてやるよ

なあ…。

(震える相手を嗤う)

自分のモノに犯されるなんて、

想像しただけで…興奮するだろ…？

俺はもう

—興奮しすぎて、

アンタの金玉(これ)もガチガチだ。

今すぐにでも、

ぶち込んでいきそうだぜ…。

こーんな、

情けない状況で—ふっ。

お前も

…自分のちんぽ(これ)を見て、興奮して…。

…分かるぜ。

俺様だって、

同じだ…ひひ

今すぐ、この—いきり立った「お前のイチモツ」で…。

お前のこと—レイプしてやりてえ。

ああ…！

ほーら…。

やらせろ…！ やらせろ…！！

この、

怒張して暴れる「俺様のイチモツ」は―

お前という

「メス」を…ご所望なんだよ！

元・自分自身に

―中までグチャグチャに犯される。

その、

絶望的な悔しさと…情けなさで…。

ほら。

―全部、終わりに“して”やるよ…！！

(中・近)

(低く、有無を言わせぬ命令口調)

ほら…！！

もっと股を開け…！！

汚ねえ処女穴

―俺様に、全部捧げろ。

今すぐ

…心の底まで抱いてやるよ。

(下劣な含み笑い)

ひひっ…。

ほーら

…感じてるだろ…？

穴の先端に

―俺様の（お前の）イチモツの、熱い感触…。
…ほら…！

（激しく煽る）

元…お前の、

自慢のちんぽ（がき）―

今すぐ、

お前のメス穴に…挿入したがって…！

ぶち込みたくて

…もう―たまらなく、
なってるぞ…！？

ほーら…！

アンタの全てを

―俺様が頂いてやる。

全部

…俺様の色に

―ドロドロに染められろ…！―！

（一気に深く、奥まで突き入れる）

ほら…！

いきり立った、俺様のちんぽ―
お前に…

（中・近 肉がぶつかり合う音）
挿、入っ…！―！

（荒い呼吸、恍惚とした声）
おお…！― やっぱ…！―
やっぱ…！―！

何だよ、

これ……！ ああ……！

（締め付けの強さに声を震わせ）
快楽の渦が——止まんねえ……！！

（低く、響かせるように）

お前の

「元・オス穴」を…

ブチブチ……って、無理やり破って…。

俺様のちんぽ——おお……！！

一番奥の「子宮」まで

——ズボツと、

届けてやってんぞ……？

（淡々と、屈辱を刻む）

元々

……大したイチモツじゃ、
ねえと思ってたがよお…。

奥までは

——届かねえと思ってたが…。

お前の

……この「雌に作り替えられた狭い穴」を…

いっぱいこ

満たすくらいには

——最高に役目を果たしてやがるぜ……！

ほら……！

ほら……！ ほら……！！

（興奮の絶頂へ）

おお…ヤバ…！

おお…ヤバ…！

おお…ヤバ…！！

（金玉が激しくぶつかる音）

金玉が

—ユサユサ…！ 大興奮だ…！！—

ちんぽ竿が—気持ちよすぎる…！

（狂ったように）

ひひっ…！

この快樂のためなら

—怪人なんて辞めて…。

まっとうな

「変態」として生きただって

—いいくらいだぜ…！！—

（激しく突き上げながら、息を整える）

この金玉と、竿の

—脳を焼くような気持ちよさに比べたら…。

どんなことも—ああ…。

どうしても、よくなるぜ…。

オホ…！

オホ…！！

オホオオオ…！！

（恍惚とした表情で見下ろす）

ほーら…見てんぞ…？

お前が—穴を使い潰されて…。

（アンタの喘ぎを真似て）

情けなく喘いでる、その姿…！！—

（心底バカにするような嘲笑）

ひひっ……！

元オスのくせによぉ……！！

ブリブリの

——「魔法少女」の服なんて着せられて…。
肉穴（まんこ）を抱かれて…貫かれて—

（高い声で）

「オホオホ」言ってるぜ……！！

情けなくて…最高で…。

最低な—その「雌犬の姿」……！！

俺様が—バッチリ…。

（目に焼き付けるように）

特等席で、見ててやってるぜ……！！

（やや左・耳元に密着して）

ほ—ら…。

（腰の動きを誘導するように）

腰を

—俺様に合わせてへこへこ、動かして…。

お前の

…そのせま—い穴を—

俺様の形に

…変えてやってるのが…分かるだろ…？

（囁き、耳を舐める）

ほら…お前は—。

「元・お前自身」に、
抱かれてるんだ。

お前自身、だったもの…。

お前が

―世界で一番、大事にしてた「シンボル」…。

それを―俺様に奪われて…。

それで

―内側からドロドロに染め上げられてる…。

こんな

―極上の屈辱と、快楽…。

他に―ある訳、

ねえだろ…！？ ひひっ…！

（リストスパート、激しく追い込む）

ほーら…！

俺様

―もう、イキそうだぜ…！！

俺様の―熱いパッション…。

俺様の、全てを…！！

お前に―一滴残らず注いでやるよ…！！

ほら…しっかり―。

（無理やり顔を向けさせて）

俺様に向かって喘げよ…？

今から―俺たち…。

「一つ」になるんだぜ…！？

（左：密着 耳元に密着、カウントダウン）

ほーら…出るぞ…。

ほーら、出る…！！

ほーら、出る…！

お前に―全部。

流し込んでやるからな……!!

(極限の囁き)

ほら…。

イクぞ…？

さーん……!!

(荒く、興奮を爆発させる)

おーおー……!! 俺様のちんぽが……!

ガチガチに――岩みてえになつてきた……!!

俺様の――脳髓と…。

ちんぽの神経が……!

完全に繋がつて――今……!

(痙攣するように)

快樂だけの

――「腰振り人形」に……なつてやがんだよお……!!

(支配を強調)

お前の中に

――出すために……!!

俺様の

――全てを使つて……!!

今

――快樂で……支配されてるんだぞ……!?

(中・密着)

に――い……!!

(さらに煽り立てる)

ほーら……!

アンタの「まんぽ」……!

もう

――俺様のこと……受け入れる準備――

完璧に出来てるじゃねえか……!!

全部

―おっぴろげてよぉ…

俺様の精子を

―迎え入れるためだけの…。

一匹の

―「メス」に…。

なりきってやがるぜ

いひひーっ…！

(愉快そうに)

いいぜ

…かわいいちゃん。

最後まで

―俺様の手のひらで踊ろうぜ……！！

(左・密着)

いーち……！

ほら…出る……！！

ほら、出る……！！

ほら、出―るっ……！！

(腰を渾身の力で突き立てる)

(ドスッ、ドスッという激しい音)

腰を

―突き動かして……！！

へっ……！へっ………！！

ちんぼの先端が

―お前の……一番弱い「子宮」を…。

逃がさず、狙い撃ってるぜ………！！

(相手の絶頂に同調する)

いいぜ……！ほら………！！

一緒に―イってやるよ………！！

ほーら…！ お前もー。

（強く抱きしめて）

一緒に果てろおおお…！

俺のー全部…！

お前に、くれてやるよ…！！

（絶頂の叫びと、流し込む感触）

ほら…！

ぜ、ろ…！ ゼロ…！！

（腹の奥まで熱が広がる音）

中出し

ーで、るっ…！！ ぐううう…！！

（長い余韻。激しい呼吸の音だけが響く）

おお…。

出てる

…出てるぜ…。

俺様自身のー熱いものが…。

アンタの中にー全部…。

ほとばしって…。

ああ…。

（胎内をかき回すように）

俺様の色に

ー完璧に染め上げてやったぜ…。

ひひっ…。

（中・近）

（息を整えつつ、支配的な低音で）

ああ…。

もう、快樂で…。

言葉をー発すること…。

出来ねえみてえだな…？ ひひっ。
ふふーん。

俺様という存在を―くれてやった…。
その「代償」…。
これから一生かけて…もらってくぜ…？

(中・密着)
(ゆっくりと抱き込み、耳元で)
ほーら…。

(汗ばんだ体に)
抱き着いて―ほら。
スケベな、
誓いのキス…しながら…
(キスフェラ 5秒)

もう
―二度と…。
この地下室(地獄)から…。
離して、やらねえぞ…？

(落ち着いて、冷酷な愛を囁く)
俺も…。
お前も…。

今から
―「一心同体」…。
逃げられない運命だからな…？

これからも
俺様だけの「モノ」に―。
じっくり、染めてやるよ。

もう―絶対に…。
逃がさねえぞ…。

俺様の

「女」になれよ。

…わかったか…？

（満足げな、不気味な笑い声の余韻）
いーひひっ